

午 後 の 講 座

* 講座の末尾の番号は、全国学童保育連絡協議会が作成した「指導員の研修課目（試案）」に該当するものです。

入 門 講 座

指導員として基本的な事項を学びます。

1 学童保育とは何か、指導員の仕事・役割は何か 【講師】山本博美（全国学童保育連絡協議会）
学童保育は共働き、一人親家庭の親の労働を保障し、子どもたちの生活を守る場です。指導員は、日々子どもたちの生活をつくることを通して、親が安心して働くことを保障しています。そのためには、子どもたちの信頼に応える力量や指導員としての職業意識も求められます。学童保育の役割、指導員の仕事・役割・指導員である事から生じる倫理・モラルについて学びます。

- 1 - - 1

2 学童保育の生活で大切にしたいこと 【講師】細川道代（栃木県野木町親子クラブ指導員）
子どもたちは放課後の時間を楽しくすごそうと学童保育に帰ってきます。また夏休みなどは朝から学童保育ですごします。指導員は、一人ひとりの子どもが安心してのびのび生活する場を子どもと一緒につくっていきます。学童保育の生活とは何か、指導員の関わり方を学びます。

- 1 -

3 学童保育の一日と指導員の仕事・毎日の事務 【講師】下浦忠治（全国学童保育連絡協議会）
新しい指導員は子どもと一日、どうぞごせばよいか悩みます。宿題、おやつ、あそび等の流れをどう作るか。掃除・片づけや行事などのとりくみもあります。年間の流れ、一日の流れをどうつくっていくかを具体的に学びます。また、指導員の仕事は、保育以外に打ち合わせ等の事前準備、保育記録などの事後のこと、父母や学校、行政との連絡などもあります。それらの実務の確かめも併せて行ないます。

- 3

4 子どものケガ・事故への対応、安全管理 【講師】坪好子（埼玉県所沢市指導員）
毎日を安全に過ごすことは生活づくりの基本です。そのための安全管理は重要です。万一起こった場合でも最小限のものとなるように対応・対処をする必要があります。学童保育の現場でどんなケガや事故が起きやすいか、極力起こさないための安全管理、事後の対処などについて学びます。

- 2

5 実践を記録する 【講師】竹内れい子（埼玉県草加市指導員）
実践を記録することは、指導員自身が実践を振り返って確かめ、よりゆたかな実践をつくっていく上で大切な仕事です。記録をもとにして学びあうこと、この積み重ねが実践の向上に確実につながります。しかし、とりくんでいる学童保育はまだまだ多くありません。実践を記録することの意味を学びます。

- 1

理 論 講 座

子どものことをより深くとらえるために専門的に学びます。

6 子どもの発達のおもしろさを学ぶ 【講師】大津悦夫（立正大学教授）
指導員の仕事を進めるうえで、子どもを深くとらえることが求められます。そのためにも、学齢期の子どもの発達の特徴を理解することは大切なことです。今日、学力競争や「いじめ」等の問題もあり子どもたちが育ちそびれている実態がある中で、子どもをよりていねいとらえることが求められています。その上で、子どもたちの成長をどう促していくかを学びます。

- 2

7 障害のある子どもを理解するか 【講師】妹尾豊広（全国障害者問題研究会）
学童保育では障害児の受け入れの条件づくりにもとりくみながら、できる限り障害児入所のための努力を続けてきました。また友だちとの生活や関わり、指導員の適切なはたらきかけの中で障害児が育つことを確かめてきました。障害と障害児をどう理解するのか、生活づくりで配慮することなどを学びます。

- 4

8 LD、ADHD、高機能自閉症児の子どもたちの理解と支援 【講師】井手籠栄理子（えじそんくらぶ・東京「E・CHAP」代表）
落ち着かない、ひとの話が聞けない、言葉の前に手が出てしまう。「ちょっと気になる子」と言われる子ども。「LD」「ADHD」と特別扱いのレッテルを貼れば解決することではありません。そうした子どもをどう理解し、支援していくか、学童保育の生活の中で何ができるかを考えましょう。

- 4

9 今日の子どもの心と身体 【講師】正木健雄（日本体育大学名誉教授）
現在、子どもたちの身体のおかしさ、その心への影響が問題になっています。成長期にある子どもの心と身体について、食生活や生活リズムなど家庭や日常生活のあり方をとらえなおし、大切にしたいことを学びます。

- 6

10 子どもとのかかわり方～カウンセリソグの手から～ 【講師】田中邦子（埼玉いのちの電話）
子どもたちは様々な思いをかかえて学童保育に通ってきています。「子どもの心によりそう」ことや「子どもの思いを受けとめる」ことはどういうことかを学びます。なお、多数の参加希望者が予想されるため、2教室に分けて開講いたします。参加者の振り分けは事務局で行い、参加証に記入しますので、記入された教室へご参加ください。

- 6 -

実 践 講 座

指導員の仕事を実践的に学びます。

11 学童保育の生活とあそび 【講師】亀卦川 茂（埼玉県富士見市指導員）
子どもにとってあそびは何かのためにするのではなく、それ自体が目的です。子どもたちは友だちとの関わりでいろいろなあそびを見つけ、また指導員もいろいろなあそびを子どもたちに伝え、一緒にあそんでいます。学童保育の中でのあそびの意味、どう展開していくか、指導員の配慮の仕方などを学びます。

- 2

1 2 子どもの生活を父母と伝え合う 【講師】橋本幸治（茨城県ひたちなか市指導員）
 父母は、わが子が学童保育に楽しく通い、育てている実感があって、初めて安心して働き続けることができます。父母と伝え合うことの重要性、何をどのように伝え合うのかを学びます。 - 6

1 3 年間計画と行事 【講師】山田正人（群馬県桐生市指導員）
 行事は生活の節目として、多くの学童保育で子どもたちが心待ちにしています。指導員は子どもたちの継続的で安定した生活をつくるために計画を立てます。計画を立てる際のポイントや留意点と行事の位置づけや配慮について学びます。 - 4 -

1 4 高学年を含めた生活づくり 【講師】土屋きみ子（群馬県高崎市指導員）
 思春期の入り口にある高学年の一人ひとりの子どもたちのおかれている状況や要求をとらえ、高学年を含めた生活づくりで、大切にしたいことを学びます。 - 5 -

1 5 障害のある子を含めた生活づくり 【講師】河野伸枝（全国学童保育連絡協議会）
 障害児のいる学童保育は増えています。障害のある子どもが学童保育の仲間として、ともに育ちあうための生活づくりとは何か、自分の要求を表現し仲間と関わっていけるように、どのようなはたらきかけが求められるかを、具体的な実践から学びます。 - 4 -

実技講座

生活づくりの中で行われているあそび等について実技の形で学びます。

1 6 いっしょにあそぼう 【講師】山崎 茂（群馬県三波川ふるさと児童館あそびの学校校長）
 多くの学童保育は異年齢の子どもたちで構成されており、体力にも能力にも幅があります。学童保育の中で楽しめる集団あそびのいくつかを参加者が実際に遊びながら学びます。運動できる服装、運動靴（上履き）をご用意ください。 - 3

1 7 つくってあそぼう 【講師】荒牧光子（遊び塾はらっぱ主宰）
 室内での楽しい遊びの一つは、材料をもとに何かを作り出すあそびです。参加者自身がいくつかの手作り工作を実際に作りながら学びます。材料費を別途いただきます。 - 3

運動に関わる講座

学童保育めぐる情勢と課題、指導員の労働条件改善など運動に関わる問題を考えます。

1 8 学童保育と指導員をめぐる情勢と課題 【講師】木田保男（全国学童保育連絡協議会）
 制度・施策の改善はなかなか進みません。そればかりか、国は「三位一体改革」によって自治体予算を絞っています。地域では、公立学童保育の民営化、「指定管理者制度」導入等による公的責任の後退が進められつつあります。「全児童対策事業」の動きもあります。学童保育と指導員をめぐる情勢と課題を考えます。 - 1 - 2

----- き り と り 線 -----
申 し 込 み 用 紙 第31回全国学童保育指導員学校

氏名	（ふりがな）	性 別	男	指導員歴	参加回数
			・	年	回
受送講 り票 先	（〒 ）	学 所 在保 地育	（都道府県名） （区市町村名）		
電話番号	（自宅）		（職場）		
希望講座	第一（ ） 第二（ ） 第三（ ） 必ず第三希望まで書いて下さい				
弁当希望	有 無	保育希望	有（ ） 歳	特記事項（ ）	

*参加費2,000円 弁当代700円 計（ ）円を添えて申し込みます。